

<p>【技術の名称】 ライジングW工法 —スラリー系機械攪拌式ブロック状混合処理工法— — (改定)</p>	<p>性能証明番号: GBRC 性能証明 第13-02号 改(更2) 性能証明発効日: 2022年2月18日 性能証明の有効期限: 2025年2月末日</p> <p>【取得者】 有限会社テクニカル九州 日本マーツ株式会社 山下工業株式会社 株式会社建商</p>
---	---

【技術の概要】

本技術は、独自に開発した攪拌バケットにより、現地土とセメント系固化材のスラリーを攪拌混合し、ブロック状の改良体を築造する地盤改良工法である。本技術は、一旦改良対象層を地上に取り出す工程を取り入れることで、支持地盤の確認、固化の妨げとなる有機質土や施工の障害となる転石、産業廃棄物および地中障害物の除去が可能である。また、品質管理試験として、施工直後に改良体の比抵抗を全数測定し、攪拌状況を確認することとしている。



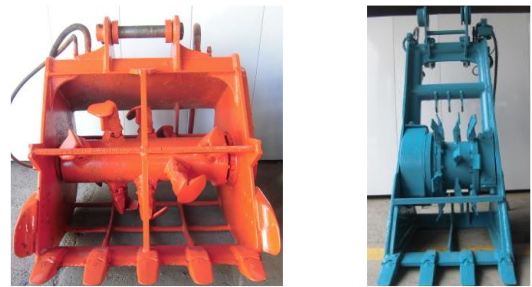
(a) スケルトン A 型 (b) スケルトン B 型

【改定・更新の内容】

新規: GBRC 性能証明 第13-02号 (2013年5月20日)
改定1: GBRC 性能証明 第13-02号 改 (2016年2月24日)

- ・使用固化材の追加
- ・攪拌時間および最小固化材配合量の変更
- ・最小水固化材比の変更およびこれに伴う添加剤 (減水剤) の使用の追加
- ・設計基準強度の適用範囲拡大
- ・プラントでスラリーを作製しない施工方法の追加
- ・スラリーの比抵抗合格判定基準値の見直し

更新: GBRC 性能証明 第13-02号 改(更1) (2019年2月4日)
: GBRC 性能証明 第13-02号 改(更2) (2022年2月18日)



(c) ロータリー-A型 (d) ロータリー-B型

図-1 攪拌バケット

【技術開発の趣旨】

本技術は、スラリー状の固化材と現地土を攪拌混合してブロック状の改良体を築造するので、効率的な施工が可能であり、改良体の均質性を確保することが可能である。また、前面に十字あるいは縦または横に平鋼を取り付けた攪拌バケットを用いることにより攪拌性能の向上を意図している。さらに、確実な攪拌混合を迅速に確認するため、施工直後の未固結改良体における比抵抗測定の全数検査を品質管理として導入している。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。
申込者が提案する「ライジングW工法 施工管理指針」に従って築造される改良体は、土質に応じて100~3,000kN/m²の設計基準強度を確保することが可能であり、配合設計および品質検査に用いる改良体コアの一軸圧縮強さの変動係数として、砂質土層で25%、粘性土層およびローム層で30%が採用できる。

また、本技術については、規定された施工管理体制が適切に運用され、工法が適正に使用されている。

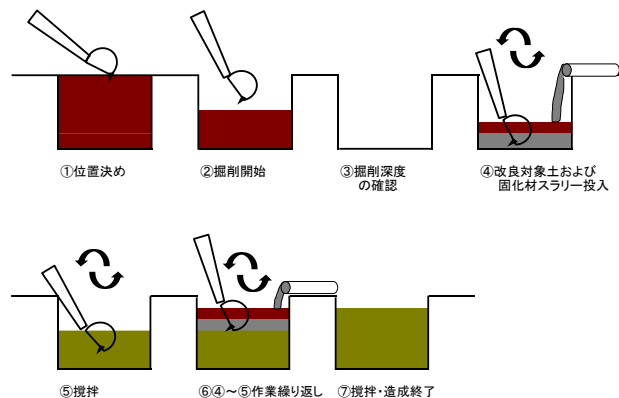


図-2 施工手順概要図

【本技術の問合せ先】

ライジング工法協会 担当者: 松田 晃治
〒739-2622 広島県東広島市黒瀬町乃美尾 557-5

E-mail: matsuda@j-marts.com
TEL: 0823-81-2117 FAX: 0823-81-2118